

令和7年度予算成立

令和7年度予算成立! 予算規模、過去最大を更新!

一般会計2,784億5,300万円、3つの特別会計と合わせて3,811億1,600万円となる江東区の令和7年度予算が、江東区議会第1回定例会の最終日(3月28日)の本会議において、賛成多数で可決され、成立しました。

大久保区長と共にこの1年間、切磋琢磨しながら、議会と行政が一体となり江東区政を前に推し進めてきた集大成となる今回の予算は、区民生活、地域経済に大きな影響を及ぼす物価高騰への対策や、区内各種事業者の労働環境の改善、労働力の確保に重きを置いた予算となり、我が会派として要望してきた事項を中心に多くのメニューが盛り込まれました。重点課題である「地下鉄8号線の延伸」への取り組みに加え、本年より新庁舎建設に関わる基金の積み立ても始まります。

能登半島地震の復旧活動が続く中、江東区も長期計画で重点課題として位置付けた、「防災・減災対策」に引き続き注力しなければなりません。

有事の際の安定した避難所運営のための備蓄物資の充実、新たな防災倉庫の整備に加え、区内各種団体と締結した防災協定に実効性を持たせるための協議会の設立、有事の際の実効性を担保するために平時の行政の防災組織の再編も行います。

さりとて、有事の対応にどう実効性を持たせるか、は引き続き大きな課題であり、我が会派は実効性をどう行政が担保するかを継続追求していきます。引き続き、「江東区の未来を切り拓く」を念頭に、江東区の着実な維持発展のために尽力する所存です。



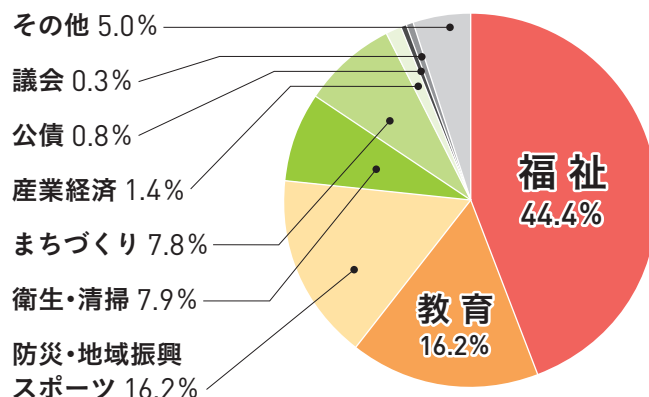
予算規模

区 分	令和7年度	令和6年度	増減率
一 般 会 計	2,784億5,300万円	2,543億4,900万円	+9.5%
国民健康保険会計	471億2,200万円	489億6,200万円	△3.8%
介護保険会計	422億1,700万円	405億1,300万円	+4.2%
後期高齢者医療会計	133億2,400万円	128億4,600万円	+3.7%
合 計	3,811億1,600万円	3,566億7,000万円	+6.9%

区民一人あたりの予算額

令和7年度予算を区民一人あたりの予算額に置き換えると、

合計51万4,050円



トピック1 パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度に反対

江東区議会第1回定例会で、区独自のパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入するための条例改正案が提出され、可決されました。我が会派として、性の多様性は尊重されるべきであるとは考えるものの、区民の理解促進が進んでいるとは言い難く条例改正案に反対しました。

反対理由の一つは、この問題を審議する企画総務委員会で、委員の中で意見が割れていることです。今回の条例改正案は、同性パートナーに加えて事実婚にある当事者や外国籍の方々の利用を認めています。東京都が実施しているパートナーシップ宣誓制度より踏み込んだ内容となっていますが、同委員会では「東京都がパートナーシップ宣誓制度を実施する中、区独自で制定する必要があるのか」や「条例制定による課題の検証が不十分」といった疑義の声が多く上がっていました。議会に対しても区民より制度導入に対する賛否両論の陳情が続いていることから、我が会派は、拙速に条例改正を行うべきではなく、例えば、性の多様性に対する理解増進を目的とした理念条例を制定すべきと考えます。

条例改正案は、委員会採決では否決されたものの、本会議採決では賛成多数で可決され、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の創設を含んだ「男女共同参画及び多様性の尊重を推進する条例」が本年7月1日に施行されることとなりました。我が会派は、条例改正後も理解増進への取り組み並びに制度の運用面における課題の有無について、動向を注視してまいります。

トピック2 区立幼稚園廃園計画にストップ

江東区は、一昨年の2園に加え新たに区内の区立幼稚園9園を廃園することなどを盛り込んだ「区立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針」を示しました。我が会派は、拙速な廃園計画には慎重の立場を示してきましたが、第1回定例会中に廃園計画を見直す方針が示されました。

区は、保育園へのニーズが高まる一方で入園者が減少し続ける区立幼稚園を縮小させていく方針でした。そうした中、我が会派には「廃園計画を進めると地域格差が生じる」、「3歳児保育があれば区立幼稚園に通わせたい」など、区立幼稚園の存続や幼児教育の拡充を求める多くのご意見が区民より寄せられました。

そうした声をもとに、新たな廃園計画を含む基本方針の見直しを行うよう区や教育委員会に求めてきたところ、今定例会中に開催された文教委員会において、教育長より計画の見直しについて言及がありました。

廃園計画の見直しを行うことは評価できますが、具体的な計画については次回の委員会で示す意向です。我が会派として引き続き、子育て世代のみならずの視点に立ち、提言を続けてまいります。



予算審査特別委員会等における質疑内容

～令和6年度を振り返り～

区民の皆様、区内事業者団体の皆様には、日頃から当会派の政務活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。
新たに区長に就任された大久保果区長による区政運営の船出の1年間で、あっという間に過ぎました。
この間、長引く物価高騰の影響や産業を問わず人材不足の課題などに直面されている区民や区内事業者の方々より、多くの切実なお声をお寄せいただきました。そうしたお声をもとに、会派としての政策及び予算要望活動を積極的に展開してまいりましたが、対象をより小規模事業者に拡大したエネルギー補助事業の再実施や、区内消費の下支えに資するプレミアム付き区内共通商品券発行事業の拡充、各種福祉関連施設事業者による人材確保と定着に向けた支援事業の実施など、令和7年度江東区政の取組みに対して、多くの会派要望を反映させることができました。
今後も区政の発展に向け、区民や区内事業者に更に寄り添った事業の推進はもとより、地下鉄8号線延伸事業と周辺まちづくりの推進や各種防災施策の具体化、新庁舎建設基本計画の策定など、多岐にわたる重要課題に対しても会派一丸となって取り組んでまいります。
皆様には、今後も当会派に対しご意見、ご要望をお寄せいただきますよう宜しくお願いいたします。

幹事長 川北 直人

川北 直人



幹事長
区民環境委員会
議会運営委員会
清掃港湾・臨海部対策特別委員会 委員長

【本会議代表質問】
長期計画(後期)重要課題に位置づけた防災対策について
各種防災施策の具体性や実効性を高めるため、どう取り組むのか？

【答弁】
危機管理組織の改正により、防災計画の立案・推進体制の強化と避難所開設運営訓練など実践的訓練の推進を図る。マニュアルの見直しや協定団体との連携強化など、避難所の環境整備と運営体制の強化を図る。

産業・地域振興について
長引く物価高騰を踏まえ、更なる事業者・生活者支援が必要である。また、持続可能性を高める町会・自治会活動活性化支援が必要だが見解は？

【答弁】
昨年実施のエネルギー補助事業について、対象経費の下限額を5万円に引き下げ、対象拡大を図り実施する。プレミアム付き区内共通商品券発行事業は、店舗間の公平性の改善に向け、商店会連合会と協議する。活性化補助に加え、子ども・防犯枠を創設し、町会の交流機会を創出する。

堀川 まさひろ



文教委員会 副委員長
医療・介護・高齢者支援特別委員会

【総務費】総合窓口事業・おくやみ窓口について
要望していたおくやみコーナーが開設されたことは評価します。しかし予約までに時間がかかるようだが、できれば今後効率的な運用を図っていただければと考えますが見解を伺います。

【答弁】(区民課長)
事務の効率化など解決すべき課題がございますが、利用される方の要望に様々な形で利便性を図れないか、検討を進めてまいります。

【土木費】公園マスタープランについて
拠点避難所である東陽小学校と隣接した東陽公園は、災害時には防災機能を備えていくべきと考えるが、防災の観点から学校と隣接した公園をどのように活用するかについて区の見解を伺います。

【答弁】(河川公園課長)
公園と小学校が相互に補完しあう防災や地域コミュニティ機能を有する公園として管理運営方針についても検討してまいります。

釧先 美彦



区民環境委員会 委員長
防災・まちづくり対策特別委員会

【総務費】災害時協定連絡協議会の方向性について
企業団体が締結する協力協定で、相互の活動内容を把握して協力関係を構築できる協議会を進め説明会や意見交換の機会が必要。分野別の分科会で役割分担の確認ができる協議会内容について見解は。

【答弁】(防災課長)
有事の対応を円滑に行える体制を整える目的で協議会を発足する。物資等優先供給、応急対策活動を整理し関係所管課を交え進める。

【教育費】校内別室指導支援員について
不登校施策として全校配置を進め、いろいろな候補者が分担して携わることも考えられ配置人員の確保に課題があると考えます。現状のブリッジスクール3校との連携や相談員の負担軽減への見解は。

【答弁】(指導室長)
学校が地域人材から打診したり、校内の職員が兼務したりする。不登校担当者連絡会で連携し、学習支援員を担う学生等を充実する。

中嶋 雅樹



副幹事長
企画総務委員会
議会運営委員会 委員長
清掃港湾・臨海部対策特別委員会

【総務費】江東区の防災組織について
未曾有の災害に見舞われると消防組織で賄いきれない活動を余儀なくされる。本区として災害対応能力の高い人材育成の課題、係わる区職員、福祉関係者、町会役員や区民に至るまでの意識啓発を問う。

【答弁】(防災課長)
災害協力隊や消防団の定員割れや高齢化対策のサポートを進める。防災関係者から一般区民に至るまで自分事への意識改革を求める。

【土木費】南砂緑道公園改修事業について
昭和54年に都電敷跡に整備され桜を楽しむ歴史の刻まれた公園改修に地元からは安全対策や桜並木への思いが寄せられている。また、通勤、通学路の生活動線でもあり改修工事に伴う影響について問う。

【答弁】(河川公園課長)
都電敷をモチーフに3ヶ所あった停留所にベンチを置き、桜並木継続は安全を担保し適切に更新。工事は動線を確保し2分割で進める。

井川 りょうたろう



副政調会長
建設委員会 副委員長
清掃港湾・臨海部対策特別委員会

【産経費】観光推進プランについて
観光推進プランで水辺の活用も重要。特に国際クルーズターミナルの利活用についてどのように考えているのか伺いたい。世界から人を呼び込める大きなチャンスになる。

【答弁】(文化観光課長)
これまであまり連携が取れてなかったのが正直なところ。乗客を区内に誘導するために今後連携を検討していきたい。

【教育費】インクルーシブ教育について
インクルーシブ教育を考える上で区内の中学校で心配になる事案があった。より一層取り組みを充実させていくべきと考えるが教育委員会の意気込みを伺いたい。

【答弁】(教育長)
インクルーシブ教育の提案をもらった。受け止めさせていただきながら前に進めていきたいと考えている。

議長・監査・委員長による活動報告

山本 香代子



江東区議会議長
江東区議会政治倫理に関する検討会 会長
文教委員会

「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」の実現に向けて
複合災害を見据えた防災対策、市街地再開発事業の促進、水辺や舟運を活用した魅力あるまちづくり等、誰もが安心して快適に暮らせるよう、前例にとられない斬新なアイデアと柔軟な発想をもって様々な提言を行い、区民生活のさらなる向上につなげてまいります。

江東区議会議員政治倫理条例の制定に向けて
区民の皆様から信頼される区議会を目指し、議員が遵守すべき行動基準や倫理基準等を定めた政治倫理条例の制定に向けて検討を進め、このたび条例案をまとめあげました。今後、条例制定に向けた手続きを進めてまいります、引き続き公正な議会運営と改善に取り組んでまいります。

やしきだ 綾香



議員選出監査委員
厚生委員会
交通対策推進・地下鉄8号線延伸特別委員会
令和7年度予算審査特別委員会 委員長

現在、議員選出の監査委員として職務に当たっています。引き続き厳正かつ適正に実施し、区民福祉の向上に取り組めます。

【令和6年度定例会本会議一般質問】
●きつずクラブについて、委託料積算上の人件費は大きな見直しが必要でない、適正な価格へ検討すべき。
A:他区も確認しながら現在の委託料積算方法について検証する。
●部活動は行政主導の学校拠点型を拡充すべき、地域クラブ活動を家庭の自己負担とするなら子育て世代の負担軽減策と逆行するが？
A:拠点校方式は運営方法の1つとして有効だが課題もある為、在り方について検討する。自己負担額については慎重に検討する。
引き続き、時代に合わせた税金の使い方を提案していきます！

おおやね 匠



企画総務委員会
交通対策推進・地下鉄8号線延伸特別委員会 委員長

【土木費】地下鉄8号線と沿線まちづくり、木場駅の安全対策について
2034年開業に向けて、昨年11月7日着工したが、枝川3丁目公園等の工事変更は、地域報告をすべき。区役所新庁舎と改修後の東陽町駅を結ぶべきでは？枝川と塩浜間のしおかぜ橋は、ライトアップすべきだ。木場駅のホームドア等の安全対策はいつ？また特に、駅構内の美化をお願いします。

【答弁】(8号線推進課長、沿線まちづくり課長、地域交通課長)
今後変更は報告する。駅の利便性からも役所と駅の接続は検討する。夜間の景観から、しおかぜ橋の照明も考える。木場駅のホームドア整備は7年度。

【衛生費】愛犬の狂犬病予防ワクチン接種の対策について
接種率は？獣医師会協力の集団接種の委託料の認識は？また各動物病院の委託料は？区民の愛犬の為、獣医師の先生方と連携し接種率アップをすべきだ。
【答弁】(生活衛生課長)
登録数 24,124頭、接種率65%、来年から獣医師会へ30万円計上している。さらに、区民の愛犬の為、区内で頑張っている獣医師と一層連携を図ります。

金子 ひさし



政調会長
企画総務委員会 委員長
議会運営委員会
交通対策推進・地下鉄8号線延伸特別委員会

【総括質疑】令和7年度予算案における区長の思い
本予算では、我が会派が1月に緊急要望を行った物価高騰対策をはじめ、数々の要望を取り入れて頂き、評価する。予算編成方針の作成から予算案のとりまとめまで、区長が編成全てに携わった初の予算。「みんながつながる笑顔があふれる未来を切り拓く新たなステージへ」という予算テーマに対する区長の思いは？

【答弁】(区長)
本予算では、子どもから高齢者まで全ての世代のニーズに応えるとともに、防災・地域活性化・DX推進、喫緊の課題へ対応する施策を積極展開する。今後の社会の維持発展には、「つながり」の強化が不可欠である。様々な声を直接聞く機会を積極的に作り、「つながり」を強化、笑顔あふれる江東区の未来を実現していく。

吉田 由紀子



文教委員会
防災・まちづくり対策特別委員会

【歳入】
森林環境譲与税の使い道について、本来の目的である水源地の森林保全や森の大切さを伝える環境教育について要望してきたがその進捗と合わせて『多摩の森活性化プロジェクト』についての進捗は？

【答弁】(温暖化対策課長)
(仮称)森林再生プロジェクトに向け関係自治体と協議調整中。令和7年度は森林体験ツアーを予定。多摩の森プロジェクトも参加の検討を進めている。

【教育費】
学校給食について、無償化により質の低下の懸念がある。有機野菜の調達が難しいとのことなので米ならどうか？連携自治体と協力し合うことで農地のない本区でも農業支援にも貢献できるのでは？まずは年1回から始めてはどうか？
【答弁】(学務課)
米は1日あたり全校で3トン必要。安全性や配送方法や送料などに課題がある。

政調会より～令和6年度各種団体意見交換会～

日頃から区政の推進にご協力を頂いている区内の様々な団体の方々と会派所属議員との意見交換会を、令和6年7月16日から連続5日間開催しました。
令和6年度の意見交換会を通じて各団体から寄せられたご意見に共通している事項として、『防災協定の具体化を含む防災減災体制の強化』、『引き続きの物価高騰対策』、『人材の確保と定着』、『働き方改革を受けた様々な対応』などが挙げられ、その他にも福祉政策、子育て支援政策、公衆衛生政策など、各方面に亘って貴重なご意見・ご提言を頂きました。頂戴したご意見・ご提言を会派所属議員全員で議論し、令和7年度江東区予算編成並びに施策に対する要望書に反映させ、本会議や各委員会の質疑の場で取り上げてまいりました。
本紙でご紹介している通り、会派要望の多くを令和7年度当初予算に反映させることができましたが、一方で予算化に至らなかったご要望事項もあります。
引き続き、区民や区内事業者団体の皆様のお声に耳を傾け、政策の立案に取り組んでまいります。

政務調査会長 金子ひさし

